

山口情報芸術センター [YCAM] ワークショップ

YCAM InterLab+安藤洋子

共同研究開発プロジェクト「Reactor for Awareness in Motion (RAM)」

ラム

「RAMサマーキャンプ2014」

2014年7月19日(土)ー21日(月・祝)3日間通し

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

ダンスがプログラミングで進化するー

新しい身体表現の創作に挑戦する3日間の集中ワークショップ

山口情報芸術センター [YCAM] では、新しいダンス表現の創作に挑戦する、ダンサーおよびプログラマーに向けた3日間の集中ワークショップ「RAMサマーキャンプ2014」を開催します。

本ワークショップは、YCAMがダンサーの安藤洋子や国内外のソフトウェア開発者とともに2010年から継続的に取り組んでいる共同研究開発プロジェクト「Reactor for Awareness in Motion (RAM=ラム)」の一環としておこなうものです。講師はYCAM InterLabや安藤洋子をはじめとしたプロジェクトメンバーのほか、ゲスト研究者が務めます。参加者であるダンサー／振付家とプログラマーはチームを組み、講師のレクチャーを受けながら、RAMで開発されたオリジナルのハードウェアやソフトウェアを使って創作していきます。

近年、ゲームやエンターテインメントまで幅広い分野で高い注目を集める、ダンスとテクノロジーが融合する表現の創作に触れられる本ワークショップは、技術だけでなく発想や創作の方法をステップアップさせてくれるはずです。この機会にぜひご参加ください。



2013年におこなわれたワークショップの様子 (2013年2月)

■ 対象

- ダンサー、振付家 (初心者参加可能)
- プログラマー (openFrameworksに触れたことのある方)
- そのほか、ダンス+テクノロジーに興味のあるアーティスト、クリエイター

■ 講師

- YCAM InterLab
- 安藤洋子 (ダンサー/ザ・フォーサイス・カンパニー [ドイツ])
- 清水基 (プログラマー)
- 寛康明 (慶應義塾大学環境情報学部准教授)
- 稲見昌彦 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授)
- クリス・サルター (コンコルディア大学 [カナダ] 准教授)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

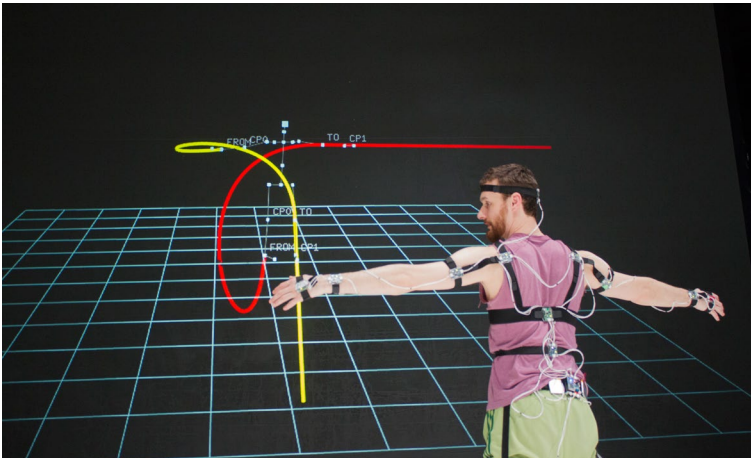
TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



未来のダンス環境をつくる—Reactor for Awareness in Motion (RAM) とは



モーションキャプチャーシステム「MOTIONER」を付けたダンサーの様子
(奥のスクリーンに映っているのが「RAM Dance Toolkit」の画面)

「Reactor for Awareness in Motion (RAM)」は、新しいダンスの作り方を開発し、それを提案、実践していくプロジェクトです。あらかじめ決められた振付をそのまま踊ることではなく、踊りを引き出す空間(=環境)とダンサーとのリアルタイムなインタラクション(相互作用)をダンスとして考えたとき、そこからどんな可能性が見えてくるのでしょうか？

RAMでは、ダンスを作り出すためのソフトウェア開発用ツールキット「RAM Dance Toolkit (ラム・ダンス・ツールキット)」や、比較的安価で手作りでき、かつ創作に耐える精度のモーションキャプチャーシステム「MOTIONER (モーションナー)」を開発。それらを全てオープンソースで公開しています。

MOTIONERを使ってリアルタイムにダンサーの動きを取得し、RAM Dance Toolkitにそのデータをインプット。そして、例えば、身体のある一点からある一点まで線が繋がったアニメーションを表示します(写真参照)。ダンサーはアニメーションを見ながら、その線の長さを変えたり、線が空間上の一点に向くように動くなど、「動きのルール」をつくることで新しいダンスのアイデアを得たり、自分がいままで無意識に持っていた身体のイメージや感覚を見直すことができます。

このようなダンサーの想像力を刺激する環境を、プログラミングを通じてデザインすることは、プログラマーや他のジャンルのアーティストたちが、ダンスの創作に関わることができる可能性を拓くことでもあります。そうした「未来のダンス環境」をつくることもRAMの重要な課題です。

■ YCAM InterLab

山口情報芸術センター [YCAM] に附属するメディアアートを専門とした研究開発チーム。主にYCAMの委嘱作品として発表するインスタレーション作品やパフォーマンスアーツ作品の技術開発をおこなっている。また、文化施設における技術者間の交流と人的ネットワークの構築、研究領域の拡大・普及を目的とし、国内外から研究者を招聘する共同研究などにも積極的に取り組んでいる。

■ 安藤洋子

ザ・フォーサイズ・カンパニー所属。1989年、舞踊家の木佐貫邦子に出会い、本格的にダンスを始める。1997年より自作のソロダンス活動を開始。2001年には、ウィリアム・フォーサイズに認められ、フランクフルトバレエ団(2005年より「ザ・フォーサイズ・カンパニー」)に入団。カンパニーの中心的存在として世界の第一線で活躍中。同時に日本においても、自らの企画プロジェクトや外部カンパニーへのゲスト出演、振付など精力的に活動している。

プログラミングがダンスを生み出す—3日間の集中ワークショップ



2013年におこなわれたRAMのワークショップの様子

「RAMサマーキャンプ2014」では、参加者の創作やプレゼンテーションのほか、豪華な顔ぶれの講師による体験講座やレクチャーも開講します。

体験講座

今回の共同創作に欠かせない、ダンサー／振付家、プログラマー間のコミュニケーション。ダンサー／振付家がプログラミングを、そしてプログラマーがダンスを学ぶ実践的な講座を開講することで、お互いの「言語」を理解するきっかけをつくります。

レクチャー

ダンサーの意識に働きかけ、その能力を引き出すシステムとも言えるRAM。ゲスト研究者を招いてのレクチャーでは、医療やスポーツなどの分野と関わりながら研究される、人間の能力を高めるためのテクノロジーについて紹介します。研究の最前線から参加者の想像力を刺激するレクチャーです。

このように、本ワークショップでは、ダンサーとプログラマーが融合したような次世代のアーティストの育成を視野に、ダンスとプログラミング、双方のコミュニティの交流の活性化を目指します。また今回、優秀なアイデアを出した参加者にはMOTIONERを貸し出し、そのアイデアを公式ウェブサイトで公開するなど、プロジェクト全体へのフィードバックの1つとしても位置づけられています。

■ 清水基

東京出身。Webフロントエンドエンジニア、IAMAS、Interface Culture (Linz)、School for Poetic Computation (NY)、フリーランサーを経て現在は株式会社ライゾマティクス所属。
<http://nuafk.jp>

■ 寛康明

インタラクティブメディア研究者・デザイナー、慶應義塾大学環境情報学部准教授。博士(学際情報学)。人間の五感や物理素材の特性とデジタル情報を掛け合わせて、身体、道具、コミュニケーションを拡張するインタラクティブメディアを開発する。

<http://www.xlab.sfc.keio.ac.jp/~kakehi/>

■ 稲見昌彦

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授。博士(工学)。東京大学助手、電気通信大学教授、MITコンピューター科学・人工知能研究所客員科学者等を経て2008年4月より現職。自在化技術、Augmented Human、エンタテインメント工学に興味を持つ。現在までに光学迷彩、触覚拡張装置、吸飲感覚提示装置、動体視力増強装置など、人の感覚・知覚に関わるデバイスを各種開発。

■ クリス・サルター

アーティスト、Hexagram Concordia Centre for Research-Creation in Media Arts and Technologyディレクター、Hexagram | CIAM (Interdisciplinarity Center for Art and Media) 共同ディレクター。コンコルディア大学(カナダ)でデザイン、コンピューテーション・アーツの分野で教鞭をとる。主な著書に「Entangled: Technology and the Transformation of Performance」(MIT Press / 2010)。

<http://chrissalter.com/>

開催概要

「RAMサマーキャンプ2014」

2014年7月19日(土)ー21日(月・祝) [3日間通し]

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

※要申込 (申込方法は右欄参照)

講師: YCAM InterLab、安藤洋子、清水基、寛康明、稲見昌彦、クリス・サルターほか

参加費: 10,000円 (交通費、宿泊費、食費などは別途参加者が負担)

参加費+宿泊費: シングル26,500円/相部屋22,000円 (ともにブラザホテル寿 [山口市湯田温泉3-3-13])

持ち物: ラップトップコンピューター1台 (推奨スペックについてはウェブサイト参照)、動きやすい服装ならびに靴

定員: 30名

主催: 公益財団法人山口市文化振興財団

後援: 山口市、山口市教育委員会、大阪ドイツ文化センター

平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

本事業は宝くじの助成を受けて実施しています。

共同開発: YCAM InterLab

企画制作: 山口情報芸術センター [YCAM]

関連プログラム

映像で見る世界のダンス vol.3 [一般公開レクチャー]

「不確定な行為: テクノロジー/ムーブメント/振付/表現する身体の歴史」

日時: 7月19日(土) 16:30ー19:30

会場: 山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

講師: クリス・サルター (コンコルディア大学 [カナダ] 准教授)

聞き手: 岩城寛久 (美学・映像メディア論/関西学院大学) ※逐語通訳あり

受講料 (全席自由/RAMサマーキャンプ2014参加者は参加費に含まれます):

前売 1,000円/any会員・25歳未満・特別割引800円

当日 1,500円

舞台芸術史において重要な人物やムーブメントを、映像記録を通して紹介するシリーズ「映像で見る世界のダンス」の第3弾。ピナ・バウシュ、土方巽特集に続き、今回はRAMサマーキャンプ2014に合わせ、20~21世紀のテクノロジーと科学との関係から、ダンスとムーブメントの歴史を解説します。

「RAM2014成果発表」

日時: 2015年1月24日(土)、25日(日) [各日完結]

会場: 山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

クリエーション参加予定: YCAM InterLab、安藤洋子 (ダンサー)、大西義人 (アーティスト)、神田竜 (アーティスト、プログラマー)、ひつじ (プログラマー)、田根剛 (建築家)、SjQ (アーティスト、音楽家)、寛康明 (研究者、デザイナー)、川口ゆい (ダンサー)、小尻健太 (ダンサー) ほか

※詳細は10月発表予定

■ ワークショップ申込方法

受付開始日: 6月7日(土)

下記ウェブサイト内に用意されたフォームに必要事項を記入の上、申し込みください。

URL:

ram.ycam.jp